

Leaf

リーフ

地域連携だより

ときわ会 常磐病院では、地域の医療施設・介護施設との連携を強化するため、当院の最新の医療情報を定期的にお知らせしております。

Vol.
37

東北初!! ロボットヘルニア手術実施!

ときわ会 常磐病院は、より一層の外科診療拡充を目指しています。

2021年4月30日、鼠径ヘルニアのロボット支援による手術を行いました。

この手術支援ロボット「ダヴィンチシステム」を用いた外科領域の鼠径ヘルニア手術はロボットヘルニア手術枠常施設として東北初となります。

上尾中央総合病院にて外科科長でいらっしゃる若林 剛先生(※)に指導者としてお越しいただきました。



常磐病院 外科診療部部长 黒川友博医師



今回の「東北初のロボットヘルニア手術」とは

常磐病院では2012年に福島県で初めて内視鏡手術支援ロボットを導入してから泌尿器科、婦人科にてロボット支援手術を行ってきました。今回外科でもロボット支援手術を行うこととなり、鼠径ヘルニアについては東北で初めてロボットを用いて手術を行ないました。

※若林剛医師
上尾中央総合病院 外科 科長 院長補佐兼
消化器外科科長兼内視鏡外科科長兼
肝胆脾疾患先進治療センター長

■ 今回手術の指導者として お越しいただいた若林剛先生について

上尾中央総合病院・外科部長 若林剛医師は鼠径ヘルニアのロボット支援手術の第一人者として日本で最も多く鼠径ヘルニアのロボット支援手術を執刀している先生のおひとりです。また、現在日本には数名しかいない「ロボット支援下腓頭十二指腸切除術のプロクター」として指導されております。今後も定期的に常磐病院でご指導いただきます。

■ ロボット手術のメリットは

高性能カメラを使用するため、より立体的な画像を確認しながら手術をすることができます。

また、多関節機能により腹腔鏡手術では困難な場所でもスムーズに可動しより精密な手術を行うことができます。痛みの軽減、再発率の低下も期待され、より早い社会復帰が可能となるだけでなく、術者側の負担軽減にもつながると考えております。

■ 入院期間はどの程度か

手術予定日の前日に入院していただき、手術後2.3日で退院できる予定です。



■ 地域の医療機関へ 黒川医師よりメッセージ

今後は消化器外科分野において、より一層ロボット手術が普及していくと考えられます。

今回のヘルニア手術はその第一歩になります。患者様にも、術者にもメリットが多いロボット手術を行っていくことにより、さらに地域医療に貢献していきたいと考えております。

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。
患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明) 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00

〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地

TEL:0246-43-7399 / FAX:0246-43-7000

